

さいたま市立浦和高校野球部

(進路実績について)

さいたま市立浦和高校がどのような高校であるかは地域の皆さんを中心に理解していただいていると思いますが、1歩踏み込ませていただくと、3つのモットーである「文武両道」「自由闊達」「自主自立」を実践している学校といえます。注目していただきたいのは「出口の充実」です。高校を選ぶ上で大切なこと・・・それは、野球部で3年間活動し、その後どのような進路を歩んでいるかだと思います。私が監督をさせていただいた野球部生徒（平成26～30年度の卒業生67名全員・マネも含む）の進学先をご覧ください。紫色は今年度、人数が追加された進路先です。

国公立等（21名）

東京大学 2名
東北大学
横浜国立大学
筑波大学 2名
東京農工大学
東京学芸大学 3名
首都大学東京
千葉大学
埼玉大学 4名
群馬大学
愛媛大学

国立看護大学校
防衛医大
埼玉県立大学

就職（1名）

特別職国家公務員

勉強浪人（9名）

私立（36名）

慶應義塾大学 2名
早稲田大学 4名
国際基督教大学
上智大学
学習院大学
明治大学 7名
青山学院大学 2名
立教大学 5名
中央大学
法政大学
成蹊大学
芝浦工業大学
自治医科大学
昭和薬科大学
駒澤大学
日本獣医生命科学大学
昭和女子大学
東京都市大学
日本体育大学

立命館大学
関西大学

野球部から現役で東京大学への進学2名！
「文武両道」を実践しています！

さいたま市立浦和高校野球部

(活動実績について)

昭和の最後、昭和63年夏、甲子園大会に出場し（29年が経ちました）全国ベスト4という実績を残しています。（当時の「さわやか野球」は色褪せることなく、今でも語り継がれるものとなっています）その後、埼玉県大会ベスト8を3回、**ベスト16を6回**、という成績を残しています。（夏のみの成績です。春・秋は調べていません）

最近の戦績

平成27年夏・選手権大会（県ベスト16）

2回戦 対 草加東高校 10対3 勝利
3回戦 対 岩槻商業高校 5×対4 勝利
4回戦 対 昌平高校（D） 5対2 勝利
5回戦 対 浦和学院高校（A） 1対7 敗退

平成29年秋・秋季大会（県ベスト16）

地区大会 対 大宮高校 12対1 勝利
県2回戦 対 越ヶ谷高校 7対1 勝利
県3回戦 対 市立川越高校 7対9 敗退

平成30年春・春季大会（県ベスト32）

地区大会 対 大宮高校 11対0 勝利
地区大会 対 和光高校 5対1 勝利
県1回戦 対 松山高校 9対2 勝利
県2回戦 対 狭山ヶ丘高校 2対3 敗退

平成30年夏・選手権・南埼玉大会（ベスト16）

2回戦 対 栄東高校（D） 8対2 勝利
3回戦 対 川越工業高校 6対2 勝利
4回戦 対 朝霞高校（D） 2対6 敗退

令和元年夏・埼玉大会（ベスト16）

1回戦 対 秀明高校 29対1 勝利
2回戦 対 八潮高校 9対1 勝利
3回戦 対 叡明高校（D） 7対3 勝利
4回戦 対 西武文理高校 9対2 勝利
5回戦 対 山村国際高校 7対11 敗退

※高校名の右、AやDはシード校です
最近の充実ぶりをわかっていたいただければ幸いです！市立浦和高校は、3年夏まで野球に全力投球、その後、受験勉強に全力投球する学校です。